

東京書肆 錦榮堂發售
長谷川展校正
飯島有年訓解
刑法訓解 全

035668-000-9

特14-157

刑法訓解

飯島 有年 / 著

M13

BBP-0237



特

特 14
157

刑法目録

第一編 總則

第一章 法例

第二章 刑例

第一節 刑名

第二節 主刑處分

第三節 附加刑處分

第四節 徵償處分

第五節 刑期計算

第六節 假出獄

第七節 期滿免除

第八節 復權

第三章 加減例

第四章 不論罪及比減輕

第一節 不論罪及比宥恕減輕

第二節 自首減輕

第三節 酌量減輕

第五章 再犯加重

第六章 加減順序

第七章 數罪併發

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第二節 從犯

第九章 未遂犯罪

第十章 親屬例

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 內亂ニ關スル罪

第二節 外患ニ關スル罪

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 凶徒聚衆ノ罪

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四節 附加刑ノ執行ヲ遅ル、罪

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

ル罪

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第七節 人ノ住所ヲ侵スル罪

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第五節 免狀鑑札及ビ疾病証書ヲ偽造スル罪

第六節 偽証ノ罪

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第四節 危害品及ビ健康ヲ害スベキ物品製造ノ規則ニ關スル罪

第五節 健康ヲ害スベキ

第六節 飲食物及ビ藥劑ヲ販賣スル罪

私ニ醫業ヲ爲ス罪

私ニ醫業ヲ爲ス罪

第六章 風俗ヲ害スル罪

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ビ墳墓ヲ發掘スル罪

第八章 商業及ビ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第三編 身軀財産ニ對スル重罪輕罪

第一章 身軀ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二節 毆打創傷ノ罪

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ビ不諭罪

第四節 過失殺傷ノ罪

第五節 自殺ニ關スル罪

第六節 擄ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第七節 脅迫ノ罪

第八節 墮胎ノ罪

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第十二節 誣告及ビ誹毀ノ罪

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第二節 強盜ノ罪

第三節 遺失物理藏物ニ關スル罪

第四節 家資分散ニ關スル罪

第五節 詐欺取財ノ罪及ビ受寄財物ニ關スル罪

第六節 贓物ニ關スル罪

第七節 放火失火ノ罪

第八節 決氷ノ罪

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ビ動植物ヲ害スル罪

第四編 違警罪

刑法

第二編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト爲ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ボスヲ得ス

若シ所犯ノ頒布以前ニ在テ未ダ判決ヲ經ザル者ハ新舊ノ
法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ス可キ者
ニ適用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル
者ハ各其法律規則ニ從フ

若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ゲザル者ハ此刑
法ノ總則ニ從フ

第二章 刑例

第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス

主刑ハ之ヲ宣告ス

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セサル者トナ
定ム

第七條 左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス

- 一 死刑
- 二 無期徒刑
- 三 有期徒刑
- 四 無期流刑
- 五 有期流刑

六 重懲役 チウキョウ

七 輕懲役 ケウキョウ

八 重禁獄 チウキン

九 輕禁獄 ケウキン

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

一 重禁錮 チウキン

二 輕禁錮 ケウキン

三 罰金 バツキン

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト爲ス

一 拘留 コウリウ

二 科料 カウリョウ

第十條 左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

一 剝奪公權 ボウダツクワン

二 停止公權 テイジクワン

三 禁治産 キンチサン

四 監視 クワンシ

五 罰金

六 沒收 モツシュウ

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別

ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢シ

獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルコ非サレハ之ヲ行フ

ヲ得ス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ禁ズ

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ナル時ハ其執

行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付

ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ニ發遣シ定役ニ

服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

第十八條 徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セオ内地ノ懲役場ニ

於テ定役ニ服ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ

其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄ニ幽閉シ定

役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下トナス

第二十一條

無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ行政ノ處分ヲ以テ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限リ居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條

懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以

下ト爲ス

第二十三條

禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以

下ト爲ス

第二十四條

禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト爲シ仍各

本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十五條

定役ニ服スル囚人ノ工錢ハ監獄ノ規則ニ從ヒ其幾分ヲ獄舎ノ費用ニ供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但

現役百日以内ハ給與ノ限ニ在ラス

第二十六條

罰金ハ二圓以上ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシ

ム若シ限内納完セサル者ハ一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕

禁錮ニ換フ其一圓ニ滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求

ニ因リ裁判官之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ過ルコト

得ス

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シタル日數ヲ

扣除シテ禁錮ヲ免ス親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時

亦同シ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セス其刑期

ハ二日以上十日以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ

區別ス

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以下ト爲シ仍

ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム

若シ限内納完セサル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ之ヲ拘

留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

- 一 國民ノ特權
- 二 國民ノ權利
- 三 國民ノ義務
- 四 國民ノ地位
- 五 國民ノ名譽
- 六 國民ノ自由
- 七 國民ノ平等
- 八 國民ノ團結
- 九 國民ノ責任
- 十 國民ノ榮譽
- 十一 國民ノ尊嚴
- 十二 國民ノ名譽
- 十三 國民ノ自由
- 十四 國民ノ平等
- 十五 國民ノ團結
- 十六 國民ノ責任
- 十七 國民ノ榮譽
- 十八 國民ノ尊嚴
- 十九 國民ノ名譽
- 二十 國民ノ自由
- 二十一 國民ノ平等
- 二十二 國民ノ團結
- 二十三 國民ノ責任
- 二十四 國民ノ榮譽
- 二十五 國民ノ尊嚴

二 官更ト爲ルノ權

三 勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ証人ト爲ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スル

ハ此ノ限ニ在ラズ

七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲メニ

スルハ此限ニアラス

八 分散者ノ管財人トナリ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理

スル權

九 學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用

ヒス終身公權ヲ剝奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス

現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス監視ノ期間公權ヲ行フヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止テ監視ニ付シタル者亦同シ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用

ヒス其主刑ノ終ルマテ自カラ財産ヲ治ムルヲ禁ス

第三十六條 流刑ノ囚リウケイ 幽閉イウペイヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得カサイナトリアツカフンキンゼイ

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本刑ノ短期三分ノ一ニ等シキ時間監視ニ付スミナカヒキケン

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得スホカ

第三十九條 死刑及無期徒刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間監視ニ付スムキ

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其捕ホニ就キタル日ヨリ起算トヲル

六 若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算スクワクテイ

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得シヤツゼツ

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完ナツクワシヒサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑カ滿マン

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒収スズツケン但法律規則ニ於テ別ニ沒収ノ例ヲ定メタル者ハ各其法モツソツ

律規則ニ從フ

一 法律ニ於テ禁制シタル物件

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件

三 犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條

法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有チ

問ハス之ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タ

ル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ

沒收スルヲ得ス

第四節

徵償處分

第四十五條

刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ

科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條

犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラルト雖モ

被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免ガル、

トテ得ス

第四十七條

數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ

賠償ハ共犯人チシテ之ヲ連帶セシム

第四十八條

裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ

請求ニヨリ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルヲ得若シ

贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被

害者ニ還付ス

第五節

刑期計算

第四十九條

刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時

ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スル

ハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑

期ニ算入セス

第五十條

刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行ス

ルヲ得ス

第五十一條

刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ

爲シタル者ハ左ノ例ニ從フ

一犯人自ラ上訴シテ其上訴正當ナル時ハ前判宣告ノ日

ヨリ起算ス若シ其上訴不當ナル時ハ後判宣告ノ日ヨ

リ起算ス

二檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トナ分

タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス

三上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ其日數ヲ刑

期ニ算入スルヲ得ス

第五十二條

刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就キタル者ハ其逃

走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

第六節

假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラルタル者ゴソク獄則チキン謹守シヨ

シシユンクワイ檢改ノ狀シヤツアル時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後行

政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スヲ得シユツボク

無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄

ノ例ヲ用ヒス

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルト雖モ仍ホナ島タツ

地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ

治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得但本刑期限内特別ニ定

メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チ

ニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヲ得

ス

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ假出

獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ通シタル者法律ニ定タル期限ヲ

經過スルニ因テ期滿免除ヲ得

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得

- 一 死刑ハ三十年
 - 二 無期徒刑ハ二十五年
 - 三 有期徒刑ハ二十年
 - 四 重懲役重禁獄ハ十五年
 - 五 輕懲役輕禁獄ハ十年
 - 六 禁錮罰金ハ七年
 - 七 拘留科料ハ一年
- 第六十條 剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ズ
 附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得
 沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免除ノ

限ニ在ラス

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遯レタル日ヨリ起算ス
 若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ
 關席裁判ニ係ル時ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遯レタル者ニ對シ逮捕ヲ命シタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

第八節 復権

第六十三條 公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀ニ因リ將來ノ公權ヲ

復スルヲ得

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦同シ

第六十四條

大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復權ヲ得

得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中記載スルニ非サ

レハ復權ヲ得ズ

赦ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス

第六十五條

復權ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラズ

第三章 加減例

第六十六條

法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數

條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ル

ヲ得ス

第六十七條

重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 重懲役

五 輕懲役

第六十八條

國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ

加減ス

一 死刑

違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降スヲ得ス
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降スヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ

生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄ス

第七十四條 附加ノ罰金ニ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時

ハ止テ主刑ヲ科ス

第四章 不^フ論^{ロシ}罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ^オ減^ゲ輕^{ケイ}

第一節 不^イ論^ニ罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ^オ宥^ユ恕^{ジョ}減^ゲ輕^{ケイ}

第七十五條 抗拒^{カウキヨ}ス可^キカラサル強^{キヨク}制^{セイ}ニ遇^アヒ其^イ意^イニ非^{アラ}サル

ノ所^{シヨ}爲^ハ其^{ツミ}罪^ノヲ論^{ロシ}セス

天^{テン}災^{サイ}又^マハ意^イ外^{ガイ}ノ變^{ヘン}ニ因^ユリ避^サク可^キカラサル危^キ難^{ナン}ニ遇^アヒ自^ジ

己^コ若^{モシ}クハ親^{シン}屬^{ゾク}ノ身^{シン}體^{タイ}ヲ防^{ボウ}衛^{エイ}スルニ出^イタル所^{シヨ}爲^ハ亦^モ同^{ドウ}シ

第七十六條 本^{ホン}屬^{ゾク}長^{チャウ}官^{クワン}ノ命^{メイ}令^{レイ}ニ從^シヒ其^{シヨク}職^{シヨク}務^ムヲ以^テ爲^シタ

ル者^ノハ其^{ツミ}罪^ノヲ論^{ロシ}セス

第七十七條 罪^{ツミ}ヲ犯^カス意^イナキノ所^{シヨ}爲^ハ其^{ツミ}罪^ノヲ論^{ロシ}セス但^レ法

律^{リツ}規^キ則^{ソク}ニ於^テ別^{ベツ}ニ罪^{ザイ}ヲ定^{テイ}メタル者^ハ此^{コノ}限^リニ在^アラス

罪^{ツミ}トナル可^キ事^ジ實^{ジツ}ヲ知^シラスシテ犯^ハシタル者^ハ其^{ツミ}罪^ノヲ論^{ロシ}

二無期流刑

三有期流刑

四重禁獄

五輕禁獄

第六十九條

輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁獄ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

禁獄ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

第七十條

禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等トナ

シ其加重スヘキ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス

爲ス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ

七年ニ至ルヲ得

第七十一條

禁錮ヲ減シタル時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日

以下寡數一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ得

第七十二條

拘留科料ニ該ル者加減スヘキ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等トナス

違^サ警^{ケイ}罪^{ザイ}ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留ハ加ヘ
テ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降^{クダ}スヲ得ス
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下
ニ降スヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零^{レイ}數^{スウ}ヲ

生^{シヤツ}シ一日ニ滿^{ミダ}サル時ハ之ヲ除^{ゾク}棄^キス

第七十四條 附加^{フクラ}ノ罰金ニ主刑^{シュコケイ}ニ從^{シタ}テ加減シ其金額ノ四

分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時
ハ止^トテ主刑ヲ科^{ケル}ス

第四章 不^フ論^{ロン}罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ減^{ゲン}輕^{ケイ}
不^フ論^{ロン}罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ減^{ゲン}輕^{ケイ}
不^フ論^{ロン}罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ減^{ゲン}輕^{ケイ}

第一節 不^フ論^{ロン}罪^{ザイ}及^{オヨ}ヒ宥^ユ恕^{ジョ}減^{ゲン}輕^{ケイ}

第七十五條 抗^{カウ}拒^{キヨ}ス可^キカラサル強^{キヨウ}制^{セイ}ニ遇^アヒ其意^イニ非^{アラ}サル
ノ所^{シヨ}爲^ホハ其罪^{ツミ}ヲ論^{ロン}セス

天^{テン}災^{サイ}又^{マタ}ハ意^イ外^{ガイ}ノ變^{ヘン}ニ因^ユリ避^サク可^キカラサル危^キ難^{ナン}ニ遇^アヒ自^ジ
己^コ若^{ニシ}シハ親^{シン}屬^{ゾク}ノ身^{シン}體^{タイ}ヲ防^{ボウ}衛^{エイ}スルニ出^イタル所^{シヨ}爲^ホ亦^{モト}同^{ドウ}シ

第七十六條 本^{ホン}屬^{ゾク}長^{チヤウ}官^{クワン}ノ命^{メイ}令^{レイ}ニ從^シヒ其職^{シヨク}務^ムヲ以^テ爲^シタ
ル者ハ其罪ヲ論^{ロン}セス

第七十七條 罪^{ツミ}ヲ犯^{オカ}ス意^イナキノ所^{シヨ}爲^ホハ其罪ヲ論^{ロン}セス但法
律規則ニ於^テ別^ニ罪^ヲ定^メタル者ハ此限ニ在^ラス

罪^{ツミ}トナル可^キ事^{ジツ}實^{ジツ}ヲ知^シラヌシテ犯^シタル者ハ其罪ヲ論^{ロン}

セ六
罪本重^{モトオモ}カル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ
論スルヲ得ス
法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヲ得
ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知^{チカク}覺^ク精神ノ喪失^{ソウシツ}ニ因テ是非^{セイヒ}ヲ辯^{ベン}

別^{ベツ}セサル者ハ其罪ヲ論セス

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿^{ミタ}サル者ハ其罪ヲ論セ

ス但^{チヤツド}滿^{ミタ}八歳以上ノ者ハ情狀^{セイジヤウ}ニ因リ滿十六歳ニ過^スキサル

時間之ヲ懲治^{チヨウヂ}場ニ留置^{リウジ}スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿^{ミタ}サル者ハ

其所爲是非ヲ辯別シタルト否^{イナヤ}トヲ審案^{シンアン}シ辯別ナクシテ

犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過^ス

キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

若シ辯別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕^{イユウジヨ}シテ本刑ニ二

等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿^{ミタ}サル者

ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス

第八十二條 瘖啞^{オンア}者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情

狀ニ因リ五年ニ過^スキサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ

ヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ滿サル者ト

雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス

滿十二歲以上十六歲ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑

ニ一等ヲ減ス十二歲ニ滿サル者及ヒ瘡啞者ハ其罪ヲ論

セス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論罪宥恕減輕

ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自

首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺故殺ニ係ル者ハ

自首減輕ノ限ニ在ラズ

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓

物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減輕ノ外仍ホ本

刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上ヲ還

償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル

者ハ官ニ自首スルト同ク前三條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲

テタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節

酌量減刑

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分クテ所犯情狀原諒ス可

キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌

量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルヲ得

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減

ス

第五章

再犯加重

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ

該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先キコ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯

輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警

罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年內再ヒ其違警罪

裁判所ノ管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ

以テ論スルヲ得ス

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ

之ヲ論スルヲ得ス

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタ

ル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサ

ル者チ後ニ大若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル
時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者
ヲ執行ス

罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各之ヲ徴収ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ヒ重
罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ非常律ニ從ヒ處斷シタル

者ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯ス
ト雖モ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例
ニ同シ

第六章 加減順序

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ

加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從
犯及ヒ未遂犯罪ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加

重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

一再犯加重

三宥恕減輕

三自首減輕

四酌量減輕

第七章 數罪俱發

第一百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期ノ等シキ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト爲ス

輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス

第一百一條 違警罪ニ罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從

テ處斷ス

第一百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其

輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セズ其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金

料料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス

若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セズ

第一百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒収及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第一節

正犯

第四百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ

各自ニ其刑ヲ科ス

第四百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者ハ亦

正犯トナス

第四百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他

ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホスヲ得ス

第四百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者

ヲ算入シテ多數ト爲スヲ得ス

第四百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆

ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所

ノ方法教唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照

シテ教唆者ヲ處斷ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止テ其指定シタル罪

ニ從テ刑ヲ科ス

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從

テ刑ヲ科ス

第二節

從犯

第四百九條 重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘

導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容

易^イナラシメタル者ハ從犯トナシ正犯ノ刑ニ一等ヲ減^{ケン}ス
但正犯^{ケン}現^{オコナ}ニ行^{トコロ}フ所ノ罪從犯ノ知^シル所ヨリ重キ時ハ止^マタ

其知ル所ノ罪ニ照^サシ一等ヲ減ス

第一百十條 身分ニ由^ヨリ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル時ハ

其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因^レリ刑ヲ減^{ケン}免^{メン}ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑ハ

其輕キニ從テ減免スルヲ得ス

第九章

未遂犯罪

第一百十一條 罪ヲ犯サントシテ謀^{ハカ}リ又ハ其像備^{ヨクイ}ヲ爲スト雖

モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ

非カレハ其刑ヲ科セス

第一百十二條 罪ヲ犯サントシテ已^スニ其事ヲ行フト雖モ犯

人^イ意外^{ゾウイ}ノ障礙^{シヤクゾウイ}若クハ舛^{セン}錯^{サク}ニ因^レリ未^イタ遂^トケサル時ハ已^ニ

遂^{ツミ}ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第一百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未^タ遂^ケサル者ハ前條

ノ例ニ照シテ處斷ス

輕罪ヲ犯サントシテ未^タ遂^ケサル者ハ本條別ニ記載ス

ルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

違^イ警罪ヲ犯サントシテ未^タ遂^ケサル者ハ其罪ヲ論セス

第十章

親屬例

第一百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタ
ル者ヲ云フ

一 祖父母父母夫妻

二 子孫及ヒ其配偶者

三 兄弟姊妹及ヒ其配偶者

四 兄弟姊妹ノ子及ヒ其配偶者

五 父母ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者

六 父母ノ兄弟姊妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姊妹及ヒ其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姊妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姊妹

第一百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ

父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子曾

孫外孫同シ兄弟姊妹ト稱スルハ異父異母ノ兄弟姊妹

同シ

養子其養家ニ於ケル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

第二編

公益ニ關スル重罪輕罪

第一章

皇室ニ對スル罪

第一百十六條

天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘ
ントシタル者ハ死刑ニ處ス

第一百十七條

天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ
三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以

下ノ罰金ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

第一百十八條

皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス
其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第一百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第二百十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的トシ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ賞給シ又ハ諸般ノ職務ヲナシタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第二百十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金

穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シ

タル者ハ兵ヲ擧ルニ至ラスト雖モ内亂ト同シク論シ其

教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本

刑ヲ科ス

第二百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他

内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第二百二十一條ノ例ニ照シ各

一等ヲ減ス

内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減

ス

第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其

事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ

六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

第二百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ聚會所ヲ給與シタ

ル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第二百二十八條 内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ

目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照

シ重キニ從テ處斷ス

第二節 外患ニ關スル罪

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交

戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス
敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ

藏匿シタル者亦同シ
第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其略遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル者ハ有期流刑ニ處ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰艦ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス
第三百十四條 外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三章

靜謐ヲ害スル罪

第一節

兇徒聚衆ノ罪

第三百三十六條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ

三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ喧鬧シ官吏ニ

強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及

ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應ジ煽動シテ勢ヲ助

ケタル者ニ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和

隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百三十八條

暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船倉庫

等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ハ死

刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制止セサル者亦同シ

第二節

官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

第三百三十九條

官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ

行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ

其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ
處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシ
メタル錢亦同シ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ
毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若ク
ハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁
錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演説ヲ
以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節

囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月
以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタ
ル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ
以テ論セス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ

論ス

第四百十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百
五十七

十二條ノ例ニ同シ但モトノトガ原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪スバク俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百四十五條 囚徒三人以上ソツバツ通謀シテ逃走シタル時ハ第ハカリテアハセ百四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第四百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メキヤウキ兇器其他ノ器具ドツクヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第四百四十七條 囚徒ヲ切奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ

五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第四百四十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ亦前上ノ例ニ同シ

第四百四十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上

三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラ

レタル者ナルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタ

ル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加

フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメゾチ圖リ其罪証

ト爲ル可キ物件ヲ隠蔽シタル者ハ十一日以上六月以下

ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ係

ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ルノ罪

第百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレ

タル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重

禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタ

ル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時

ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第五節 私人ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

第一百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第一百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止テ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第一百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第一百六十條 第一百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百六十一條 第一百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

第一百六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害

第六十三

シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十三條

偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若シハ

之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

第六十四條

電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷

シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重

禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ

不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

第六十五條

瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其標

識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス

第六十六條

船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其他

航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ

點示シタル者ハ亦前條ニ同シ

第六十七條

前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官

吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ

加フ

第六十八條

第六十二條ノ罪ヲ犯シ因人ヲ殺傷シ

タル者ハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六十九條 第六十五條 第六十六條ノ罪ヲ犯シ因

テ瀛車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ

處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ

遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ

看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下

ノ重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入りタ

ル時

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ

看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一年以下ノ

重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一等ヲ

加フ

第七十三條 故ナク 皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ
入リタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ

物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以

下ノ重禁錮ニ處ス

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ

毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從

テ處斷ス

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其

物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權ア

ル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ

二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

第七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者身體ヲ

毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖

リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第二

百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

第七十九條

醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖

分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條

裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前條ニ

同シ

第八十一條

傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶

入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ

陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等

ヲ減ス

第四章

信用ヲ害スル罪

第一節

貨幣ヲ偽造スル罪

第八十二條

內國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行

使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未

タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇テ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照

シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ハシヨヲ爲シテ雜役サツエキニ供シタル者ハ職工ノ刑

ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ボツサシヲ給

與ヨシタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シュエヨラシタル者ハ

偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ取受シュエツユシ之ヲ行

使シタル者ハ偽造變造シテ行使カツシシタル者ノ刑ニ照シ各

二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ

處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視クワンシニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者

未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首ヤクシヨシタル時ハ本刑ヲ免

シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

若シ職工シヨクシツ雜役サツエキ及ヒ房屋ボツサシヲ給與キヤウヨシタル者未タ行使セサル

前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造

ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額カクワツクニニ倍ノ罰金アマインムカニ

處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スヲ得ス

第二節

官印ヲ偽造スル罪

第一百九十四條

御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第一百九十五條

各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第一百九十六條

産物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第一百九十七條

御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盗用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第一百九十八條

官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第一百九十九條

已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

ス

第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期

徒刑ニ處ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シ

タル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ

偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變

換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又

ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ

處斷ス

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月

以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若

シハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換

シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル證

書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上

四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ

一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未

又遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處

スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル

者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時

ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ

以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十五條 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ

疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ

他人ノ爲メニスルヲ分タヌ一月以上一年以下ノ重禁錮

ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ

加フ

第二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲メ疾病ノ證

書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ

證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ
第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲソツケンケンソツケン増減變換シテ
行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

第六節 偽證ノ罪

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サ
レタル者被告ヒコフ人ヲ曲庇キヨクヒスル爲メ事實コトガラヲ掩蔽モシヘイシテ偽證ケイジヲ
爲シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス
一 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以
下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

二 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以
下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

三 違警罪イザイザイヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條
ニ依テ處斷ス

第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當シヨウトツノ刑ヲ免カノタル
時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百二十條 被告人ヲクワシツツイ陷害ツミニナトシイレスル爲メ偽證ヲ爲シタル者
ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

一 重罪ニオトシイ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年

以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

二輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二年
以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

三違警罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上三
月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後
ニ於テ偽證ノ罪ハツクワク
アラハレ發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ケンザ
チノレカツミキラルス

若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ
前條ノ例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シ
タル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ
前條偽證ノ刑ヨリ降スコトヲ得ス

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル
時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於
テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス
若シ被告人ヲ死ニ陷ルハソ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタル
時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺

シタル時ハ一等ヲ減ス

第二百二十三條

民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ

爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以

上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十四條

鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレ

タル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シタル

偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百二十五條

賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽

證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證ノ例

ニ同シ

第二百二十六條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事

件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑

ヲ免ス

第七節

度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條

度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタ

ル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜

用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷

ス

第二百二十八條

偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シ

タル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第二百二十九條

商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所
有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以

テ論ス

第二百三十條

人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變
造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條

官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍
身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以

下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條

官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若
クハ内外國ノ勳章ヲ借用シタル者ハ十五日以上二月以

下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節

公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條

公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シ
タル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章

健康ヲ害スル罪

第一節

阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第二百三十九條 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フニ不能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條

船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯ス

ヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ二等ヲ加フ

第二百四十八條

傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流

行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕

禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條

獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背

シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ

輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節

危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規

則ニ關スル罪

則ニ關スル罪

第二百五十條

官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製

造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ

處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十

圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十一條

官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ

創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背

シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百五十二條

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ヲ

致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷

六

第五節

ル罪

健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣ス
カラダノドクニナル
イシヨクアツ
クヒモノ
ヤクザイ
アワセクスリ
ウリサズ

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混
和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル
者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死
ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處

斷ス

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ十
圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ
死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從
テ處斷ス
シキ
コロシキ、ケ

第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三圓以
上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
カツゼン
オホヤケニミダラナル
シワザ

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品

ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下

ノ罰金ニ處ス

第二百六十條

賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結

シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上

百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條

財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ

一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ

但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス賭博ノ器具財物其

現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

第二百六十二條

財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖ス

ルノ業ヲ興行シタ以者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ

處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十三條

神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不

敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以

下ノ罰金ニ處ス

第七章

死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百六十四條

埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月

以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シ

タル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十條

農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業

ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計

威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重

禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十一條

雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ

變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨

害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十二條

虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需

用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下

ノ罰金ニ處ス

第九章

官吏瀆職ノ罪

第一節

官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十三條

官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行

セズ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ三月以

上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

第二百七十四條

兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル

官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其

處分ヲ爲サハル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ

二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者

ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ヲ

キ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ

十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ

當リ豫審判事檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ

處分ヲ爲サハル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處

シ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ違

守セズシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ

十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ

加フ

第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セズシテ囚人

ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ

放免セザル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人

ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者

ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以上

下ノ罰金ヲ附加ス

因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照

シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解ク

ヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照

シ一等ヲ加フ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ

罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以上五十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ

照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十三條 裁判官檢事故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受

理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以

下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

第二百八十四條 官吏人ノ囑託ヲ受テ賄賂ヲ收受シ又ハ

之ヲ聽許テキヨシヤシタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ

四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受

シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮

ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十六條 裁判官檢察官吏刑事ノ裁判ニ關シ

テ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年

以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス

因テ被告人ヲ曲庇キヨクヒシタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁

錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陷害クワシクワイシタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮

ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷ワウダン

シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條第二百

二十二條ノ例ニ照シテ反坐ハンザス

第二百八十七條 裁判官檢察官吏賄賂ヲ收受聽許セ

スト雖モ情ニ徇シタカヒ又ハ怨ヲ挾サニ被告人ヲ曲庇陷害

シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタ

ル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徵ス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取

シタル者ハ輕懲彼ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第

二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百九十條 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數

外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮

ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九十一條 止節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ

處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三編

身體財產ニ對スル重罪輕罪

第一章 身體ニ對スル罪

第一節

謀殺故殺ノ罪

第二百九十二條

豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

第二百九十三條

毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

第二百九十四條

故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

第二百九十五條

支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故

殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已

ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑

ニ處ス

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害

ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者

ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者

ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節 毆打創傷ノ罪

第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ

重懲役ニ處ス

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ

兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷チ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神

ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘

廢疾ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ

處ス

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹

ル又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年

以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病キツグツ休業シユトチヤスムノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年

以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十

一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業ハイトクシツ癡篤疾カクワホモキキマヒ又ハ死

ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ

加フ

第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯

シテ共罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ亦前

條ノ例ニ同シ

第三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ

毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ

手ヲ下シナ傷ヲ成スノ輕重ニ從テツク各自ニ其刑ヲ科ス若シ

共毆キヨウシテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルヲ能ハサル時ハ其重傷チヨウ

ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但キヤウ教唆者オダテルモノハ減等ノ限ニ在ラス

第三百六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ

傷ゼスト雖モホツシヨ幫助ツクシテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ

成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セ

シメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ處斷

ス

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ危

害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ

論ス

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不諭罪

第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ直ニ怒

ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ

所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知

ル不能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルヲ得

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チ

ニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫

先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若

クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ

之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本

刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百十四條

身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムヲ得サル

ニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ

爲メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所爲ニ因リ

自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十五條

左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サルニ出テ人

ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出テ

ル時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戶牆

壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

第三百十六條

身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムヲ

ヲ得サルニ非スニテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去

リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者

ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例

ニ照シ其罪ヲ宥恕スルヲ得

第四節

過失殺傷ノ罪

第三百十七條

疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ

因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰

金ニ處ス

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シソウシヤウ 癱瘓ハイトクシツ 疾病ニ致シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラセ

メタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五節

自殺ニ關スル罪

第三百二十條

人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケ

テ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下

ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其

他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百二十一條

自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシ

メタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節

擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條

擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル

者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一

等ヲ加フ

第三百二十三條

擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ

飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ二月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致

シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シスイクワシンサイ水火震災ノ際ミツヒシシンサイナン其監禁ヲ

解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同

シ

第七節

脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタ

ル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下

ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ

及ヒクワイカウリヤク毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以

下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ

各一等ヲ加フ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタ

ル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル

者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節

墮胎ノ罪

第三百三十條

懷胎ノ婦女クワイタイ藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シ

タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十二條 醫師イシ穩婆オンバ又ハ藥商ヤクシヤウ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼オトシシ又ハ誑騙カウマシシテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下

ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第九節 幼者イヨウシヤ又ハ老疾者ロウシヤヲ遺棄オシキスル罪

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ラ生活セイカツスルヲ能ハサル老者ロウシヤ疾患者ビヨウシヤヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十七條

八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者チ

リヤツゲキム
カヒシキヒトノ非

ニシ人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ

ストコロ處ス

第三百三十八條

給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ

者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十九條

幼者老疾者チ遺棄シ因テ癡疾ニ致シタ

ル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ

死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百四十條

自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄

セラレタル幼者老疾者アルコトヲ知テ之ヲ扶助セス又ハ

クレンシヨ
官署ニ申、告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ

處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ知テ扶助セス又ハ

申告セサル者亦同シ

第十節

ヨウシヤ
幼者チ 零取誘拐スル罪

第三百四十一條

十二歳ニ滿サル幼者チ零取シ又ハ誘拐

シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上

五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附

加ス

第三百四十二條

十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者チ零取

シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家屬カヅク僕婢ボクヒト爲シ又ハ其他タノ名稱ナメイヲ以テ之ヲ收受ソウジュシタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者ヒガイシヤ又ハ其親屬シンゴクノ告訴ソウソクヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼

者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴ノ效ナシ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ソノキヤウヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ボウキョウヲ以テ猥褻ノ所行ソノキヤウヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ボウキョウヲ以テ猥褻ノ所行ソノキヤウヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重

禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕

懲役ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ

姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ

輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親

屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ

死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從

テ處斷ス但強姦ニ因テ癡篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑

ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ

媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年

以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦

通夫縱容シタル者ハ告訴ノ效ナシ

第三百五十四條

配偶者ハイグウシヤ
オウトアルモノアル者重子テ婚姻ヲ爲シタル時

ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節

誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十五條

不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第

二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十六條

誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メ

サル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第三百五十七條

誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時

ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照

シテ處斷ス

第三百五十八條

惡事アウジツ
ワルキコトイハナシヨキヨリ醜行ウツコウ
アバキダシヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者

ハ事實ジツ
コトカラノ有無イウム
アルナシヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

一公然コウゼン
オハヤケノ演說エンセツヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三

月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

二書類シヨ
ルイ畫圖ガ
トヲ公布カウ
フシ又ハ雜劇ザツ
ケキ偶像グウ
ゾウヲ作爲サク
イシテ人ヲ誹毀

シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十九條

死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔フ
モウニ出タルニ

非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

第三百六十條

醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若

クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因

リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一

日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル

者ハ此限ニ在ラス

第三百六十一條

此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又

ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第十三節

祖父母父母ニ對スル罪

第三百六十二條

子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者

ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

第三百六十三條

子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪

其他監禁脅迫遺棄誣告訴毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條

ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癡疾ニ致シ

タル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑

ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條

子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セ

ズ其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以

下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別

ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルヲ得ス但其犯ス時知

ラサル者ハ此限ニ在ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪

ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條 氷火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シ

タル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條

門戶モンコ牆壁セツヘキヲ踰越ユウゴク損壞ソンクワイシ若クハ鎖鑰サカクヲ開ヒラ

キ邸宅倉庫テイタクソウコニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者

ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條

兇器ケイキヲ携帶ケイタイシテ人ノ住居シタル邸宅ニ入

リ竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條

自己ノ所有物ト雖モ典物テンブツトシテ他人ニ

交付カウフシ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ

竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取

シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取

シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關

スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者

ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ

未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ

處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條 祖父父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ

同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以

テ論スルノ限ニ在ラス

若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論

ス

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強

取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個

毎ニ一等ヲ加フ

一二人以上共ニ犯シタル時

二兇器ヲ携帶シテ犯シタル時

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死

ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ

處ス

第三百八十二條 竊強財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴

行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ酔迷セシメ其財物ヲ

盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ

輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物理藏物ニ關スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所

有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上

三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ニ處ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘

得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三
百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ

虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以下四年以上ノ重禁

錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル

者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若

クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私

償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重

禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ證書

類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年

以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ偽造

ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタ

ルニ乘シテ其財物若シハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ
詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物
質ヲ變シ若シハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取
財ヲ以テ論ス

第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換
シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シ
テ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當典物ト爲シタル者亦同

第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ
六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ
受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下
ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ
詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押
ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ
重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三
百八十八條ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未
タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三
百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節

贓物ニ關スル罪

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ又
ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年
以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ

監視ニ付ス

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ

知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル
者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節

放火失火ノ罪

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル
者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物
ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎

ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶瀛車ヲ燒燬シ

タル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乘載セサル船舶瀛車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積シ

タル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處

ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月

以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ

二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐

ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意

ニ出ルト過失トチ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住

居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃テシホ礦坑クワツカウ牧場マキ等マヲ荒廢クワツクハイシタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百十三條 他人ノ便益ベニキヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル

爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル

者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節

船舶センボウヲ覆沒フクボツスル罪

第四百十五條

衝突シヤツトツ其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船

舶ヲ覆沒シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡シバウナキ時ハ無

期徒刑ニ處ス

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ

覆沒シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節

家屋クラカ物品ブツヲ毀壞クワイシ及ヒ動植物ドウシヨクヲ害アライスル罪

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ

一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ
重キニ從テ處斷ス

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又
ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上
三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰
金ニ處ス

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタ
ル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以
上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ

移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日
以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰
金ニ處ス

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月
以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタ
ル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告

訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十四條

人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅

盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以

上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四編

違禁罪

ケイサツキソクニソムクツミ

第四百二十五條

左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日

以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科

料ニ處ス

一規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街

ニ運搬シタル者

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自

ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタ

ル者

五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規

則ニ違背シタル者

六 官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理

ヲ爲サ、ル者

七 官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八 自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セズ

又ハ他所ニ移シタル者

九 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十 密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者

十一 一人ノ住居セサル家屋内ニ潛伏シタル者

十二 定リタル住居ナシ平常營生ノ産業ナシシテ諸方ニ

徘徊スル者

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但被告

人偽證ノ爲メ刑ヲ免カシタル時ハ第二百十九條ノ例

ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受

ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

三不潔ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者

四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規

則ニ違背シタル者

五人ノ通行ス可キ場所ニアル危険ノ井溝其他凹所ニ蓋

又ハ防圍ヲ爲カ、ル者

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘍シ又ハ驚逸セシメタル

者

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者

八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者

九變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者

十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十二公然人ヲ罵詈訶弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日

以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ

科料ニ處ス

一濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

二 制止ヲ肯セズシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キ
タル者

三 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者

四 木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點
燈ヲ怠リタル者

五 瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

七 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

八 警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者

九 醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

十 死亡ノ申告ヲ爲サズシテ埋葬シタル者

十一 流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者

十二 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ人ヲ惑
ハシテ利ヲ圖ル者

十三 私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シ
タル者

十四 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル
者

十五 路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ厠場等ヲ毀損シタル者
十六 道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指

道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ

處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者

ル者

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り

又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者

三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ

出サスシテ通行シタル者

四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者

五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ

違背シタル者

六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水

ヲ浚ハサル者

七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者

ル者

八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者

者

九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者

十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十一他人ノ繫キタルシウバツ舟筏フネイカダヲ解放シタル者

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十

錢以下ノ科料ニ處ス

一橋梁カウリキョウ又ハ堤防テイボウノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏シウバツヲ繫キタル

者

二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横ヨコタヘ又ハ木ボク石セキ薪炭シンタン等キイシタキ、スミヲ

堆積カイセキシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

三車馬ヲ並ナラヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

四水路ニ於テ舟フネヲ並ナラヘ通船ノ妨害ヲ爲シタル者

五氷雪塵芥等ヒヤウセツ、チンカイ、コホリコキチリ、クワヲ路上ニ投棄タウキシタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲サ、ル者

七制止キソジヲ肯カヘンセスシテ路上ニ遊戯ユウキヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲

シタル者

八牛馬ヲ牽ヒキキ又ハ繫ツナクフヲ忽ユルカセニシテ行人ノ妨害ヲ

爲シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十通行禁止ノ榜示ハツシヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌ハツカ高聲カウセイヲ發シテ制止セイジヲ肯カヘンセサル者

十二酩酊メイテイシテ路上ニ喧噪ケンサウシ又ハ醉臥スイイシタル者

十三路上ノ常燈シヤウロウヲ消シタル者

十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者

十五邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告

ノ榜標等チ毀損シタル者

十六他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓チ採食シ又ハ花卉チ採

折シタル者

十七公園ノ規則チ犯シタル者

十八通路ナキ他人ノ田圃チ通行シ又ハ牛馬チ牽入レタル者

ル者

第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ

定ムル所ノ違警罪チ犯シタル者ハ其罰則從テ處斷ス

明治十三年八月三日御届

定價二十五錢

麴町區富士見町貳丁目
五番地寄留

校正者 長谷川 展

神田小川町八番地寄留

訓解者 飯島 有年

日本橋區通壹丁目
十九番地

出版人 大倉孫兵衛

福壽信著
總生寬訂

漢文字引

全壹冊
定價七十五錢

此字書ハ讀書家ノ必用ニシテ並御布告新開等御覽ノ節字チ求ムルニ
至極重寶ナル字引ナリ

通町壹丁目	須原屋茂兵衛	芝字田川町	和泉屋市兵衛
同 西川岸	須原鉄次	同	内野屋彌平二
同 吳服町	同 量平	室町三丁目	紀伊國屋梅次郎
通貳丁目	山城屋佐兵衛	本石町二丁目	椀屋喜兵衛
同	同 源吉	神田明神下	島屋平七
同	小林新兵衛	大傳馬町三丁目	袋屋龜二郎
同 三丁目	丸屋善七	通池町	藤岡屋慶次郎
同 三丁目	長門屋龜七	通盤町	内藤傳右衛門
同 四丁目	松田幸助	横山町一丁目	出雲寺万次郎
南傳馬町一丁目	吉川半七	馬喰町二丁目	山口屋藤兵衛
南傳馬町貳丁目	中村熊次郎	横山町四丁目	和泉屋勘右衛門
銀座貳丁目	小林新造	淺草茅町	須原屋伊八
同 四丁目	和泉屋孝之助	同 廣小路	淺倉屋久兵衛
南鍋町一丁目	同 北郎	日本橋檜物町	島屋儀三郎
芝口壹丁目	兎屋誠	神田小川町	飯島有年
同 字田川町	和泉屋善兵衛	通壹丁目	大倉孫兵衛板
	同 吉兵衛		